

# 武力攻撃事態とは？

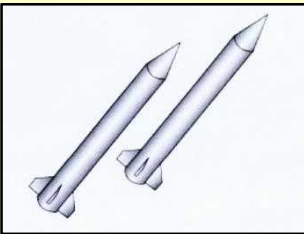
## 有事を想定した備え

外国からの武力攻撃やテロは、いつ発生するかわかりません。  
こうした事態に遭遇した場合、どのように対応したらいいのかなど、日頃から有事に備えた準備をしましょう。

## 武力攻撃事態の種類と対策

武力攻撃事態は4つに分類されており、それぞれの攻撃事態が発生した場合の対策については、下記のとおりです。

### 弾道ミサイル攻撃



**【特徴】** 発射前に着弾地域を特定することが極めて困難で、短時間での着弾が予想される。

**【対策】** 発射直後は屋内へ避難し、その後、行政機関からの指示に従い適切な避難を行う。なお、屋内への避難は、堅牢な建物（コンクリート製等）に避難する。

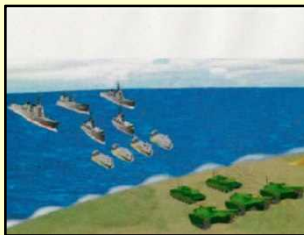
### 特殊部隊等による攻撃



**【特徴】** 突発的に被害が発生し、一般的には、被害は比較的狭い範囲に限定される。また、攻撃には、核・生物・化学兵器などの使用も考えられる。

**【対策】** 突発的な被害の発生が考えられるので、攻撃当初は一旦屋内に避難、その後、行政機関の指示に従い適切に避難する。

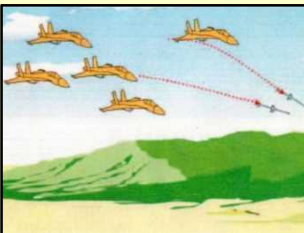
### 着上陸侵攻



**【特徴】** 船舶による上陸は沿岸部が侵攻目標、航空機による場合は沿岸部に近い空港が攻撃目標となりやすい。

**【対策】** 避難が必要な範囲は広範囲にわたり、遠方への避難が必要で、その期間も長期間になることが予想される。避難の経路や手段は、行政機関からの指示に従い適切に避難する。

### 航空攻撃



**【特徴】** 弾道ミサイルに比べ、発射兆候を察知することは比較的容易だが、あらかじめ攻撃目標を特定することは困難である。

**【対策】** 屋内への避難が広範囲にわたって指示されることが考えられる。なお、屋内への避難は、堅牢な建物等に避難し、その後、行政機関からの指示に従い適切に避難する。

※ 本記事については、国民保護ポータルサイト(kokuminhogo.go.jp)をもとに作成しています。

厚岸警察署 TEL 0153-52-0110